



平成 21 年度新事業創出・販路開拓ネットワーク整備・活用等事業

2009 年 12 月 28 日発行

展示会・見本市レポート第35号

発行：全国商工会連合会

編集：(財) 日本立地センター

協力：全国イノベーション推進機関ネットワーク

第3回 国際ガーデン EXPO(GARDEX2009)

会 期	2009年11月11日(水)～13日(金)
会 場	幕張メッセ
主 催	日本フローラルマーケティング協会、リード エグジビジョン ジャパン
事務局	(http://www.gardex.jp)
出展者数	855社
出 展 料	1小間(3m×2.7m)=420,000円(税別)
来場者数	31,928名
募集期間	2008年10月～2009年8月末
出展業種	切花・鉢物・種苗、花材・包装資材、栽培機器、肥料・農薬、低温倉庫・冷蔵 コンテナ、造花・ドライフラワー・新素材フラワー、フラワーリビング、鉢・園芸用 品、家庭菜園用具、緑化資材、ガーデン雑貨、灌水装置、エクステリア製 品、ガレージ・物置・ログハウス、和風庭園、アウトドアリビング、ブロック・レン ガ・石材、表札・ポスト 等
来場者の職業	生産者、農協、種苗、花き輸出入商、花材メーカー、生花店、園芸店、量販 店、小売店、バイヤー、造園・設計・施工、販工店、工務店、商業施設施工 主、ホームセンター、通販、建材商社・卸商、エクステリア商社、ディベロッパ ー、ハウスメーカー、ホテル・レストラン 等
同時開催	第6回国際フラワーEXPO、第1回国際エクステリア EXPO
次回開催予定	2010年10月28日(木)～30日(土) 幕張メッセ

発行：全国商工会連合会 企業支援部 市場開拓支援課 03-3503-1256

編集・問い合わせ：(財) 日本立地センター 新事業支援部 03-3518-8964

◆ 時流商流 ◆

「家庭菜園」などにスポット当てる

日本のガーデン業界最大の国際商談展である同展は、国内外から最新の園芸資材、緑化資材が集結した。

今展の特徴は、「家庭菜園」「ガーデン雑貨」「工具・道具」にスポットを当てた新しいゾーンが設けられたこと。同じく環境緑化市場の急速な拡大を受け、前回に続き設置された「環境緑化フェア」に、施主向けの「環境緑化 提案ゾーン」を設けたことである。

この新ゾーンには屋上緑化をはじめ、ビオトープ・水環境、河川・のり面緑化などの環境緑化を総合的に提案し、施工まで受け持つ企業が出展。主催者によると、新ゾーンによって商業施設のオーナーや官公庁など、施工主の来場が増えたという。次回の環境緑化フェアもさらに規模が拡大する見通しだ。

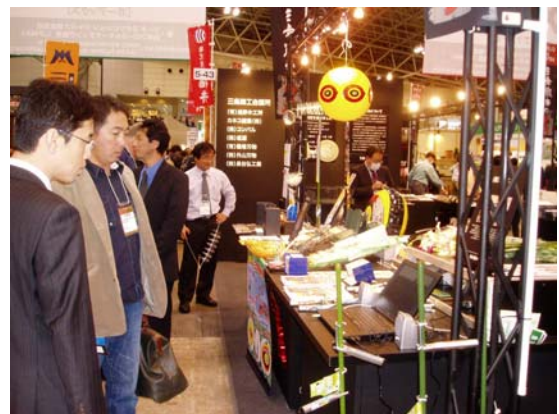


国内ガーデニング市場に期待感

展示会の目玉の一つ「家庭菜園ゾーン」には、ガーデニング人口の増加から市場が拡大してきたことを受け、多くの新規参入企業が出展した。家庭菜園用の野菜・果物種苗、栽培キット、育成ライト、家庭用土と肥料などの新商品が展示会を賑わした。

「ガーデン雑貨ゾーン」では、長靴や手袋などのオシャレ園芸雑貨、インテリア商品としても関心を集めるガーデン雑貨など、個性豊かな新商品が集結。

また、施工・造園・農業向けの「工具・道具ゾーン」では、金物メーカーの出展が注目を集めた。特に刃物の産地として知られる兵庫県の三木と新潟県の三条は、地域ぐるみで出展、両市の地域興しに対する意気込みを感じさせる中身となった。出展者の中には、欧州向け輸出が中心だった国内の鋸メーカーが初めて出展するなど、国内のガーデニング市場の拡大を裏づける動きが読み取れた。



次頁からは、本展示会の中でもユニークな取り組みを行っている地域のブースを紹介する。

◆ ブース細見 ◆

樹皮を使った壁面緑化用ボードをPR

★出 展 目 的 : PR

★代表商品の価格:「E-ソイルボード」(1㎡)=15,000円(税別)

鳥取市のジャパン緑化 (<http://www.japan-ryokka.co.jp>) は、壁面緑化用ボードの新商品をPR。

同社は5年前に建設業から壁面緑化事業に転進。主力商品の「E-ソイルボード」は、国産材のスギやヒノキなどの針葉樹皮をリサイクルした多目的環境保全資材を、独自の技術で軽量のボードに加工したもの。

軽量で耐熱性に優れ、専用プラグ苗で簡単に植栽できるのが特徴。経済産業省の「農商工連携88選」にも選ばれている。全国のFC30店で販売。別の展示会で商談がまとまった実績があるという。



混合有機肥料の特約店を募集

★出 展 目 的 : 特約店募集

★代表商品の価格:混合有機肥料「土の友」(15kg)=2,500円(税別)

東京・府中市のタナベ (電話042-369-4018) は、独自技術で商品化した混合有機肥料「土の友」の特約店を募集するため出展。10年前から研究し、2年前に販売を始めた。

開発した肥料は、油粕の糖蜜と納豆菌に近いEM(蘇生型有用微生物群)を混ぜたもの。この肥料で栽培した作物は玄米の場合、うどん粉病などの病気が発生しにくく、しかも常温で保管できるという。

また、りんご、ブドウ、スイカなどの果物は、糖度が増す特徴がある。展示会と口コミで販売してきたが、特約店で販売にも力を入れる。

三条商工会議所が7社で団体出展

★出 展 目 的 :商談、PR

★代表商品の価格:カネコ総業の「花はさみ」=15,750円(税込み)

新潟県の**三条商工会議所** (<http://www.sanjo-cci.or.jp>) は、浅野木工所、カネコ総業、鶴巻刃物など会員7社で団体出展した。ジャパンDIYホームセンターショウ、東京インターナショナル・ギフト・ショー春などに出展してきたが、同展への出展は初めて。

鉄と鋼の鍛造品を生産する**越後三条刃物**は、古くは和釘、マサカリ、ハサミなどの産地として発展してきた。2009年4月には包丁、切り出し刃、ナタ、マサカリなど10品目が伝統工芸品に指定されている。販売は金物卸を通して行なっている。

三条商工会議所の富澤誠産業振興課長補佐は、出展の目的について「エンドユーザーから商品に対する要望を聞くことと、造園会社や小売店と商談をしたい」と話している。



個人向けガーデニングブーツに本格参入

★出 展 目 的 :PR

★代表商品の価格:ガーデニングブーツ「チェリー」=14,490円(税込み)

兵庫県明石市の**シバタ工業** (<http://www.sbt.co.jp>) は、熟練職人による手作りの個人向け**ガーデニングブーツ**をPR。展示会への出展は3回目。

1927年の創業以来、耐水性と防水性に優れた天然ゴム素材を使ったラバーブーツを作り続ける。主に自衛隊、消防署や企業向けに安全ゴム長靴を卸してきた。事業の発展性を考え、ガーデニング市場に本格参入した。

販売方法は、展示会とネット販売が中心。

「来場者の反応をみますと、(ラバーブーツの)企画・デザインをしたいとの要望が多いようです」(井上隆夫執行役員履物部長)という。